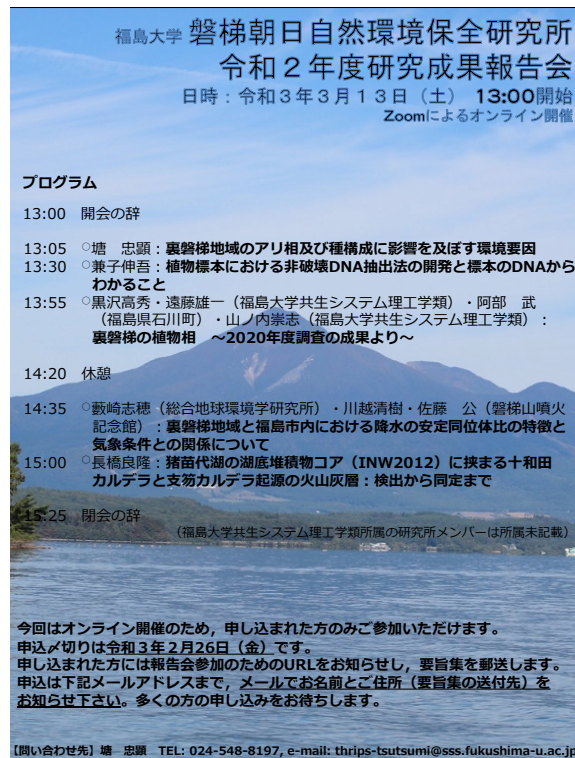


## 令和2年度研究成果報告会開催報告

2021年3月13日、今年度の研究成果報告会をオンラインで開催しました。昨年度の報告会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止から県内のイベントのほとんどが延期・中止となる中、感染予防対策を徹底した上で何とか開催させて頂きましたが、今年度はやむなくオンラインでの開催となりました。それでも学内外から36名の方に事前申込を頂き（発表者を除く）、当日は学内外から34名の参加者がありました。このうち16名が学外の方でした。また、裏磐梯ビジターセンターには7名の視聴者が集まって下さったそうです。学内からも磐梯朝日自然環境保全研究所の関係者以外の方が参加して下さい、学生の参加も6名ありました。オンラインでどこまでアクティブなディスカッションができるか心配しましたが、終了時間が予定より30分延長となるなど盛り上がり、何とか形にはなりました。ただし、「オンラインでは質問することが難しい」などのご意見もありましたので、来年度は是非また対面での報告会を開催したいと考えています。毎年、裏磐梯地域と猪苗代地域とで交互に開催してきましたので、来年度は猪苗代地域での開催の予定です。

今回は5題の報告がありましたが、残念ながら教員のみで学生の方向はありませんでした。以下にタイトルを記します。生物系は3題で、裏磐梯地域のアリ相及び種構成に影響を及ぼす環境要因（塘）、植物標本における非破壊DNA抽出法の開発と標本のDNAからわかること（兼子）、裏磐梯の植物相～2020年度調査の成果より～（黒沢ら）、水・地球環境系は2題で、裏磐梯地域と福島市内の降水の安定同位体比の特徴と気象条件との関係について（藪崎ら）、猪苗代湖の湖底堆積物コア（INW2012）に挟まる十和田カルデラと支笏カルデラ起源の火山灰層：検出から同定まで（長橋）。報告者の皆様、お疲れ様でした。



福島大学 磐梯朝日自然環境保全研究所  
令和2年度研究成果報告会  
日時：令和3年3月13日（土）13:00開始  
Zoomによるオンライン開催

**プログラム**

13:00 開会の辞

13:05 ○塘 忠願：裏磐梯地域のアリ相及び種構成に影響を及ぼす環境要因  
13:30 ○兼子伸吾：植物標本における非破壊DNA抽出法の開発と標本のDNAからわかること  
13:55 ○黒沢高秀・遠藤雄一（福島大学共生システム理工学類）・阿部 武（福島県石川町）・山ノ内崇志（福島大学共生システム理工学類）：  
裏磐梯の植物相 ～2020年度調査の成果より～

14:20 休憩

14:35 ○藪崎志穂（総合地球環境学研究所）・川越清樹・佐藤 公（磐梯山噴火記念館）：裏磐梯地域と福島市内における降水の安定同位体比の特徴と気象条件との関係について  
15:00 ○長橋良隆：猪苗代湖の湖底堆積物コア（INW2012）に挟まる十和田カルデラと支笏カルデラ起源の火山灰層：検出から同定まで

15:25 閉会の辞  
(福島大学共生システム理工学類所属の研究所メンバーは所属未記載)

今回はオンライン開催のため、申し込まれた方のみご参加いただけます。  
申込み切りは令和3年2月26日（金）です。  
申し込まれた方には報告会参加のためのURLをお知らせし、要旨集を郵送します。  
申込は下記メールアドレスまで、メールでお名前とご住所（要旨集の送付先）をお知らせ下さい。多くの方の申し込みをお待ちします。

【問い合わせ先】塘 忠願 TEL: 024-548-8197, e-mail: thrips-tsutsumi@sss.fukushima-u.ac.jp